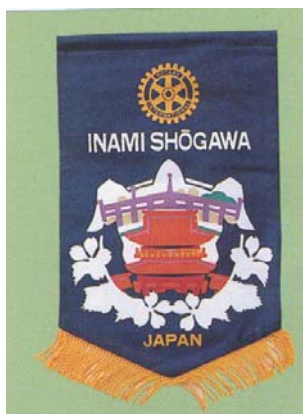




RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2006-07年度 No.11 10月25日発行

事務局 〒932-0211 富山県砺波市庄川町示野 121 リプロ内

TEL&FAX 0763-82-4318、inashore@athena.ocn.ne.jp

URL <http://www.ftake.com/inasho-rotary.htm>

2006-07年度 会長 上田 昭二、幹事 河合 耕一

2006-07年度 RI テーマ



「率先しよう」

(ウィリアム・B・ボイド会長)

本号目次 ①10月11日第1347回例会記録 ②10月18日第1348回例会記録

例 会 記 録

① 第1347回例会「職業奉仕月間にちなんで」

平成18年10月11日(水)井波文化センター例会場

1. 点鐘：斉藤副会長
2. ソング「我等の生業」
3. 卓話：テーマ「交通事故後の対応」ゲスト 大久保智氏（東京海上日動火災保険【株】京滋北陸損害サービス部 高岡損害サービス課課長）根元重通氏（東京海上日動火災保険高岡支社 支社長代理）紹介者：川那辺会員
4. 会長の時間…斉藤副会長「中日ファンの人、おめでとうございます。私の阪神は、残念でした。北朝鮮が、実験をしたそうですが、核爆発かどうか心配です。先週は、亀田さんには、急に無理を言って、リハーサルなしのぶっつけ本番の準備不足でした。皆様には、暖かく迎えていただき感謝しております。」



5. 幹事報告…河合幹事「本日は特にありません。」
6. ニコニコ BOX…後述

卓話…大久保智氏(東京海上日動

火災保険)「交通事故後の対応」

川那辺利一会員紹介：大久保さんは埼玉県の方です。「職業奉仕月間にちなんで」のテーマとは、違うかもしれませんが、身近の事で、ためになる事ですから、皆さんよく聞いてあげてください。



大久保氏卓話内容「交通事故を起こすと、民事上、道義上、刑事上の責任が生じます。特に人身事故の場合は、警察に被疑者として扱われ、その過失状態によって、不起訴になるか略式起訴になるか、または死亡事故や後遺障害や重大な過失があると裁判で、公判請求されること

になります。特に、最近厳しい飲酒運転などは、即警察署の送致され、刑事事件として扱われます。民事上は、人身事故の場合は、車の所有者にも責任追及されます。



民事上の責任は、損害保険で支払いを行う形になります。物損事故の場合、動いている物同士なら、一方に100%責任があるということになりやすく、その責任割合は、別冊判例タイムズ(発行：東京地裁交通判例研究会)を参考にして決められます。人身事故の後遺障害は、一応3ヶ月をめどに、症状固定の判断をし、示談することになります。ともかく、飲酒運転では、搭乗者のケガの費用や自分の車の修理費用は保険で見てもらえないし、故意の事故は、全く保険が支払われません。」

ニコニコBOX(本日2名)

横山豊介会員…「何でも鑑定団」で父横山白汀の欄間「富士に三保の松原」が出ます。600万円の値段がつき会場が沸きました。10月14日(土)正午チューリップTVで放映されます。是非、見てください

米道会員…久しぶりに出席しました。ご無沙汰をお許し下さい。

② 第1348回例会

平成18年10月18日(水)井波文化センター例会場

1. 点鐘…斉藤副会長
2. ソング「奉仕の理想」
3. 卓話「職を支えたディープインパクトな言葉」：石

岡敬夫氏(南砺市教育委員)：紹介者・高瀬顕正会員

4. 会長の時間…斉藤副会長「日本ハム優勝おめでとうございます。先週、高岡西RC40周年記念式典に行ってきました。四津谷仁朔パストガバナーや荒井公夫現ガバナーがおられ、力が入っていました。当クラブももうすぐ30周年ですが、記念事業に予算の準備が必要です。」
5. 幹事報告…河合幹事「①高岡西RCの40周年の記事が、北日本と富山新聞に掲載されていましたが、ロータリークラブの使命をかいてあるいい記事でした。②地区大会の2日目、マイクロバスが、8：30 川那辺宅前、8：35 井波交通広場、8：45 アミュー前の予定です。」
6. 委員会報告…村松親睦委員長「11月22日の秋の家族旅行は、現在金沢方面で、検討中です。」
7. ニコニコBOX…後述

卓話「職を支えたディープインパクトな言葉」…石岡敬夫氏

紹介者：高瀬会員：福野高校で一緒に在職した事があります。石岡先生は、福野高校長や県立図書館長をされました。現在、南砺市教育委員です。



石岡氏卓話内容：私は教員生活の中で、いくつかの心に残った言葉が忘れられないです。これらの言葉が私の職を支えてくれたといっても過言ではありません。時間の都合上、3つの言葉を話させていただきます。

まず、一つ目は、新任地の井波高校で、日本史の授業をしていて、「五稜郭」の字の板書が違っていたのがわからず、「閣」と書いて、一人の生徒から「二つの書き方

があるのですか」と指摘され、間違いに気がつき訂正しました。後でその生徒にお礼を言うと、恥ずかしそうにうつむいているだけでした。その後、その生徒と気が通うか、卒業までよく遊びに来てくれたのですが、後で聞くと、その生徒は、小学生の頃から、「自分から手を挙げて発言したのは、そのときが初めて。」といいました。私は、そのとき、人というのは言いたいことが南砺言えないものなのかと感じました。その生徒は『これを自分の卒業記念にしたいと思います』といい、大変感動しました。

その次に、福光高校で、職員の中の会合で、自分が議長を務める会合に、急な電話がかかり、予定時刻より、2分遅れてしまいました。そのときは詫びて済ませましたが、会合が終わり、上司の先生に、遅れたことを言葉では穏やかに、しかし中味は厳しく叱られました。その言葉は『他人の時間を盗むな』、つまり、35人集まっていて、2分遅れたのだから、70分も人の時間を無駄にした事になります。そのときから、時間に遅れないようにしています。

最後は、県教育委員会に勤務して、初年度、教育問題懇談会でテーマを決める係りが当たり、時間もなく、昨年度同様のものを提出したら、上の教育理事の方から、『新しく担当の君の考えの入っていない計画はだめだ。昨年と同じという事は、昨年と同じ給料でいいのか』といわれ、はっとしました。それからしっかりと案を練るようにしました。こんな経験が私を支えてきました。」

て、同じ事でも、しっかり受け止めてくれる先生とそうでない先生がいますが、その生徒はいい先生にめぐり合えて卒業していったのだなあと思いました。なぜなら、先生に間違いを指摘して、一蹴されるほうが多い気がするからです。自分たちも、職場でスタッフにそういう気遣いも必要なのかもしれませんね。(山本武夫)

ニコニコBOX(本日1名)

横川会員…日本ハムが優勝して嬉しいです。

河合会員…高岡西RC40周年に行ってきました。

【編集後記】

今回の石岡先生とは、私が主治医という事ばかりでなく、県立図書館長の職にあられるときに、宮崎県の故山下文夫先生の「むし歯とキッパリ別れる本」と「虫歯の敵は幾万ありとても」という、フッ素でむし歯予防をというものの、国や大学を批判した本なのに、自分で読んでいい本だから、県立図書館に寄贈を快く引き受けてくださった、思い出があります。今回の先生の卓話を聞いて